

第22回全国障害者スポーツ大会茨城県選手団結団式について

10月7日（金）、茨城県庁9階講堂において「第22回全国障害者スポーツ大会茨城県選手団結団式」を開催しました。

障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会は、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的としており、台風及び新型コロナウイルス感染症の影響で3年続けて中止等となりましたが、本年度は4年ぶりに開催されます。

今年は、10月29日（土）から31日（月）までの3日間、栃木県内各地で開催され、本県からは104名（選手59名、役員45名）の選手団が参加します。

結団式では、飯塚福祉部長から県旗が授与された後に、陸上競技に出場する小池 くるみ（こいけ くるみ）選手による選手宣誓、永井 立雄団長（茨城県手をつなぐ育成会会長）による決意表明などが行われました。

選手団一行は、今月27日（木）に開催地の栃木県へ向けて出発します。

記

- 1 名称（愛称）
第22回全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）
- 2 スローガン
夢を感動へ。感動を未来へ。
- 3 日程
令和4年10月29日（土）～10月31日（月）
- 4 本県選手参加競技別人数

陸上競技	19名（知的部門10名 身体部門9名）
水泳	6名（知的部門3名 身体部門3名）
アーチェリー	1名（身体部門）
卓球	9名（知的部門4名 身体部門3名 精神部門2名）
フライングディスク	7名（知的部門3名 身体部門4名）
ボウリング	4名（知的部門）
ボッチャ	2名（身体部門）
バレーボール聴覚障害男子	11名（身体部門）

◎県旗授与



◎選手宣誓



◎集合写真

